

メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～

EXILE MATSU（松本 利夫）さん

EXILE の MATSU です。

今回ですね、新型コロナウイルスの状況下で、皆さま大変苦しい思いをされて、大変なことだと思っております。

家での過ごし方はですね、基本的には家族と過ごしております。4歳になる息子がいるので、日々息子の遊び相手といいますか、一緒にゲームをしたり、子どもといる時間が一番多いかなと思っております。

自分が小学校ぐらいの時かな、そのぐらい時には本当に、ゲームばっかやっている少年でした。あんまり外で遊ぶことが多くなかった子ども時代だったんじゃないかなと思います。

ダンスに目覚めたのは、中学3年生から高校1年生ぐらいの時に、ダンスに目覚めてといいますか、ダンスが好きになって。当時は本当に全然、このダンスでどうにかしてやろうとか、大した夢もなかったんですけども、ただただダンスが好きで、追い続けて。そして家の中で踊って、そして外で友達と踊ってっていう日々でしたね。

それがいつしか EXILE という大きなグループに入れるようになるんですけども、そこには、やっぱり自分が経験してきたと思うのは、やっぱり好きなもの・好きなことというのを見つけられたということが、自分の人生において大きかったんじゃないかなと思います。なので、夢と言うとすごく大きなことに感じてしまうかもしれないんですけど、皆さんにぜひ「好きなこと」を追求して、見つけてほしいなという思いです。

基本的には失敗することやつらいことっていうのは、日々の中であるとは思うんですけども、要は自分次第で、気持ち的にこれがつらいとか、これが失敗したと思わなければ、それはある意味「成功への道しるべ」と自分は受け取っています。もちろん、自分も持病があったりもするので、そういうときにはつらい経験はあったんですけども、何よりもそれも、その持病もむしろ自分の性格とか個性とか、そういうふうを受け取って、それとうまく付き合っていくと。その中でどうやって自分で切り開いていくか、そしてそれを感じた上で、自分の気持ち・モチベーションを上げるのをどうやっていくかというのは、もう自分次第だって。その自分というものをある意味ポジティブに、常にプラス思考で考えて頑張ってきました。

その中でもやはり EXILE というグループをやらせていただいている中で、本当に大変な時期もありました、もちろん。もちろんいいことだけではなく。でもそんな時にも、やっぱり支

えてくれた周りのメンバーだったり、家族だったり、やっぱり自分一人では生きていけないので。そういった部分では本当に日々、周りの人に感謝することを忘れずに、今も頑張っております。

川崎にお住まいの皆さん、本当に今外に出られない状態で、友達とかにも会いたくても会えない、学校にも行けないという状態で、大変つらい思いをしているかと思いますが、家にいることで勉強もできるし、家にいることで、僕は家の中でトレーニングするので家の中で体を動かすこともできますし、もちろん外遊びみたいなことはなかなか難しいかもしれませんが、今家にいることで誰か一人でも助けられるという気持ちを持っていただけたら嬉しいなと思いますし、逆に今のこの苦境を乗り越えて、それを力に変えて未来につなげて行ってほしいなと心から思います。

僕は川崎の子どもたちを応援しています。